

## 2025（令和7）年度 文部科学省教育研究組織改革分事業

### 「連合小児発達学研究科関連5大学子どものこころの研究センターによる国際拠点形成とOUエコシステムアジア展開」との共同研究支援 公募要領

大阪大学大学院 大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学連合小児発達学研究科、同研究科附属子どものこころの分子統御機構研究センター、金沢大学子どものこころの発達研究センター、浜松医科大学子どものこころの発達研究センター、千葉大学子どものこころの発達教育研究センター、福井大学子どものこころの発達研究センターで連携して実施する文部科学省教育研究組織改革分事業「連合小児発達学研究科関連5大学子どものこころの研究センターによる国際拠点形成とOUエコシステムアジア展開」は、国立大学法人のなかで唯一、複数の大学が連合し、「科学的視点を持って子どものこころを健やかに育てる」ための教育研究拠点です。

本事業では、上記5大学内だけでなく、広く国内、海外の研究者・研究施設が、子どものこころを健やかに育てることを目指して行う多施設に依る共同研究の場として中核的役割を果たし、国内外の研究者の要請に応えることを目指しております。

そのため、大阪大学連合小児発達学研究科の構成5大学において蓄積されたリソースや設備を活用して、研究者が広く、連合小児発達学研究科と共同し実施する研究を公募し、支援します。

#### 公募事項

##### 1. 募集テーマ

大阪大学大学院 大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学連合小児発達学研究科、研究科構成大学の子どものこころの発達研究センター（大阪大学は子どものこころの分子統御機構研究センター、千葉大学は子どものこころの発達教育研究センター）において実施する、子どものこころに関する臨床研究・介入研究・基礎研究に関連するテーマ。

5大学の持つ共通リソースや設備を活用した下記テーマに関する共同研究、及び事業主体5大学外部の研究者からの自由な提案により、連合小児発達学研究科または5大学の子どものこころの研究センター所属の研究者と共同で行う子どものこころに関する研究を募集します。共同研究者には事業主体側の研究者（特任助教以上）を1名以上必ず含むようにしてください。5大学による研究内容および研究者については、下記ホームページを参照してください。

#### 研究テーマ

<b>テーマ1 脳とこころの表現型</b>
(研究内容) 神経発生、発達とその障害の分子メカニズム、ゲノム・エピゲノム・オミクス研究、神経病理・神経薬理、発達と発達障がいのあるあられ・症候論など

<p>(事業側受入れ研究者)</p> <p>佐藤 真 特任教授 (大阪大学)、片山泰一 教授 (大阪大学)、横山 茂 教授 (金沢大学)、松崎秀夫 教授 (福井大学)、橘 雅弥 准教授 (大阪大学)、岡雄一郎 講師 (大阪大学)、三好耕 助教 (大阪大学)、謝 敏瑛(ビンカク) 助教 (福井大学)</p>
<p><b>テーマ2 こころの育ちとその支援</b></p>
<p>(研究内容) 子育て支援、ペアレントトレーニング、地域・学校支援、虐待、出生コホート研究、認知行動療法、ことばとコミュニケーション、子どもの眠りと育ちなど</p>
<p>(事業側受入れ研究者)</p> <p>友田明美 教授 (福井大学)、清水栄司 教授 (千葉大学)、毛利育子 教授 (大阪大学)、西村倫子 准教授 (大阪大学)、浦尾悠子 特任講師 (千葉大学)、山本知加 助教 (大阪大学)、吉崎亜里香 特任助教 (大阪大学)、石井篤子 特任助教 (大阪大学)、田中早苗 特任助教 (金沢大学)</p>
<p><b>テーマ3 子どものこころの計測とその基盤</b></p>
<p>(研究内容) 脳画像 (MEG、MRI)、睡眠、視線、発達と発達障害のバイオマーカー、評価尺度開発、機械学習と人工知能、子どものこころ研究の ELSI (ethical, legal and social issues) など</p>
<p>(事業側受入れ研究者)</p> <p>谷池雅子 特任教授 (大阪大学)、土屋賢治 特任教授 (浜松医科大学)、千住 淳 教授 (浜松医科大学)、平野好幸 教授 (千葉大学)、下野九理子 教授 (大阪大学)、水野賀史 准教授 (福井大学)、池田尊司 准教授 (金沢大学)</p>

大阪大学大学院 大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学連合小児発達学  
研究科

<http://www.ugscd.osaka-u.ac.jp/>

大阪大学連合小児発達学研究科附属子どものこころの分子統御機構研究センター

<http://www.med.osaka-u.ac.jp/pub/kokoro/>

金沢大学子どものこころの発達研究センター

<http://kodomokokoro.w3.kanazawa-u.ac.jp/>

浜松医科大学子どものこころの発達研究センター

<https://rccmd.net>

千葉大学子どものこころ発達教育研究センター

<http://www.m.chiba-u.ac.jp/class/rccmd/>

福井大学子どものこころの発達研究センター

<http://www.med.u-fukui.ac.jp/CDRC/welcome.html>

2. 申請資格者

日本国内および海外の大学並びに研究機関、または医療機関に所属する教員・研究者・医師・コメディカル

3. 研究期間

2025（令和7）年4月1日から2026（令和8）年3月31日まで（次年度の再申請による延長可）

4. 申請方法

申請書の様式は、上記 連合小児発達学研究所ホームページ、事業主体5大学の子どものこころのセンターホームページ、または以下の事業ホームページよりダウンロードして取得して下さい。

<http://www.ugscd.osaka-u.ac.jp/crnacdd/index.html>

本研究支援を希望される方は、募集テーマの受入教員（連合小児発達学研究所・子どものこころの発達研究センター所属）と研究課題、研究計画、必要経費等について事前に打ち合わせを行ったうえ、申請して下さい。

研究分野・所属教員・研究の概要等は、以下のホームページをご覧ください。

<http://www.ugscd.osaka-u.ac.jp/access/>

適当な受け入れ教員が見つからない場合や、希望の受入教員との事前打ち合わせについての調整を希望される場合は、6. 申請書提出先に記載された担当までご連絡ください。

作成した申請書は、e-mail または郵送にて 「6. 申請書提出先」に記載の提出先に提出して下さい。

5. 申請書提出期限

2025（令和7）年3月28日（金）17時必着

6. 申請書提出先

大阪大学大学院連合小児発達学研究所

共同研究推進・国際ハブ化推進・拠点化基盤推進部会

部会長：橘 雅弥（大阪大学 准教授）、土屋賢治（浜松医科大学、特任教授）

E-mail：[kyodokenkyu@ugscd.osaka-u.ac.jp](mailto:kyodokenkyu@ugscd.osaka-u.ac.jp)

電話 06-6879-3863

住所 〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-2

7. 採択基準

応募いただいた提案は以下の基準を以って評価し、採否を決定します。

- (1) 連合小児発達学研究科および5大学の子どものこころの研究センターで行っている子どものこころの発達研究をさらに飛躍させるものであること
- (2) 研究実現の可能性が高く、研究の中で子どものこころのセンターが果たす役割が明確であること
- (3) 国際化の視点を持った研究であること
- (4) 先端的もしくは社会への還元・貢献が期待できる研究であること
- (5) 本事業の趣旨にかなう内容であること
- (6) 倫理的な問題のない研究であること

※事業の趣旨については、下記のHPを参照してください。

<http://www.ugscd.osaka-u.ac.jp/crnacdd/index.html>

## 8. 採否

1~2件程度の採択を予定しています。

共同研究の採否は、「連合小児発達学研究科関連5大学子どものこころの研究センターによる国際拠点形成とOUエコシステムアジア展開」事業 共同研究推進・国際ハブ化推進・拠点化基盤推進部会で審議決定し、本事業実行委員会で承認後、申請者へ直接通知します。

## 9. 研究経費

支援課題については、1件につき50万円を上限として、共同研究に必要な研究経費について、「連合小児発達学研究科関連5大学子どものこころの研究センターによる国際拠点形成とOUエコシステムアジア展開」事業で負担します。必要な研究経費のうち、支援可能な項目は、共同研究にかかわる旅費、および事業側が支出に同意した物品購入費等とします。

## 10. 遺伝子組み換え実験、動物実験、ヒト及びヒトから得られた標本を対象とする研究、ヒトへの介入研究、ヒトゲノム・遺伝子解析研究等

研究において遺伝子組み換え実験、動物実験等を5大学のいずれかで実施する場合、またヒトから得られた標本を用いた研究、ヒトへの介入研究、ヒトゲノム・遺伝子を扱う研究等では、研究の遂行にあたって、当該大学において申請手続きや倫理審査・承認が必要となります。

## 11. 研究成果の報告

共同研究代表者には、研究の進捗状況や成果について、令和8年1月~3月に開催する本事業の国際シンポジウムにて英語でご報告いただきます。詳細については、採択後にお知らせします。

## 1 2. 共同研究報告書の提出

研究代表者は、令和7年度の研究成果をA4版2-3枚程度にまとめ、2026（令和8）年4月30日までに、「6. 申請書提出先」へ提出してください。長期支援対象者は年次報告を提出してください。

報告書の著作権は公衆送信権を含めて「連合小児発達学研究科関連5大学子どものこころの研究センターによる国際拠点形成とOUエコシステムアジア展開」事業を実施している各大学の子どものこころの研究センター（大阪大学連合小児発達学研究科附属子どものこころの分子統御機構研究センター、金沢大学子どものこころの発達研究センター、浜松医科大学子どものこころの発達研究センター、千葉校大学子どものこころの発達教育研究センター、福井大学子どものこころの発達研究センター）に帰属いたしますので、ご了承ください。

※報告書の記載方法などについては、後日連絡します。

## 1 3. 論文の提出

本共同研究の成果を論文として発表される場合には、謝辞として「文部科学省教育研究組織改革分事業・連合小児発達学研究科関連5大学子どものこころの研究センターによる国際拠点形成とOUエコシステムアジア展開」による旨の文章を記載して下さることをお願いいたします。その際、別刷り1部を「6. 申請書提出先」へ提出してください。

## 1 4. 知的財産権の取り扱い

大阪大学共同研究規程を準用します。

[http://www.osaka-u.ac.jp/jp/about/kitei/reiki\\_honbun/u035RG00000471.html](http://www.osaka-u.ac.jp/jp/about/kitei/reiki_honbun/u035RG00000471.html)

## 1 5. 事故対応等

共同研究が採択され、学生が参画する場合は、「学生教育研究災害障害保険」等に必ず加入し、所属機関の助教以上の教員、もしくは、連合小児発達学研究科、各大学の子どものこころの研究センターの教員の監督下にて実験等を実施してください。

## 1 5. 前年度採択者の再申請

前年度に本事業での共同研究に対する支援を受けている場合にも、次年度に改めて共同研究申請を行うことができます。他の申請と同様に、厳正な審査を行い、再度採択された場合には、次年度にも継続して共同研究支援を受けることができます。

## 1 6. 問い合わせ先

大阪大学大学院連合小児発達学研究科

共同研究推進・国際ハブ化推進・拠点化基盤推進部会

部会長：橘 雅弥（大阪大学 准教授）、土屋賢治（浜松医科大学、特任教授）

E-mail：[kyodokenkyu@ugscd.osaka-u.ac.jp](mailto:kyodokenkyu@ugscd.osaka-u.ac.jp)

電話 06-6879-3863

住所 〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-2